

国際交流基金助成事業報告

薬学科 4 年次生 宇田麻里子

1. はじめに

私は国際交流基金の助成を受け、8 月 18 日から 8 月 25 日まで行われたバンクーバーサマープログラムに参加いたしました。このプログラムでは、基本は午前は語学学校で授業を受け、午後は様々な医療施設の見学や、現地で働く医療関係者の方々からお話を聞かせていただきました。また、滞在中はホームステイをさせていただきました。

2. 語学学校

Oxford international Vancouver という、バンクーバーのダウンタウンにある学校に通いました。学校に通われていた生徒さんは日本人をはじめ、様々な国の方が通われていました。授業は今回のプログラムに参加した 14 人の大薬生と Gen という女性の先生で行われました。授業内容は基本的な医療英語で、病気の名前、病気の症状の伝え方、また医療従事者と患者の両方の立場における会話での伝え方など、広く教えていただきました。

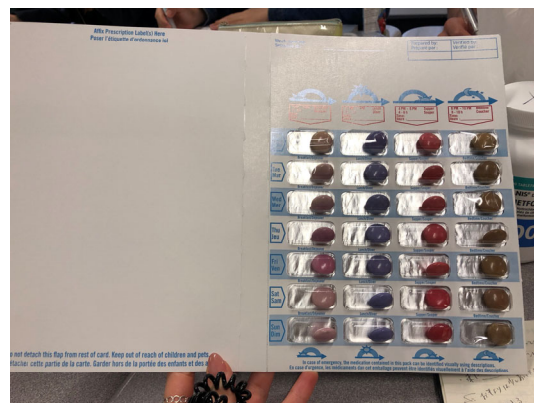
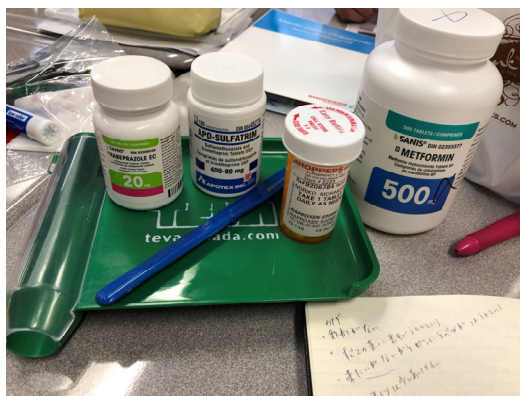
3. 施設訪問

まず、日本とカナダの医療制度は大きく違いがあることに驚きました。日本では、内科、皮膚科、外科、眼科などと分かれているのに対して、カナダではその様な区別はなく緊急を要さない限りクリニックで診てもらおうというのが一般的だそうです。クリニックでドクターに診てもらい、薬を処方してもらったり、専門医を紹介してもらったりという手順だそうです。薬局には薬剤師、テクニシャンがおり、テクニシャンは薬剤師の補助的な仕事をするようです。日本の薬剤師業務の大きな違いはインフルエンザなどの予防注射を患者に打つことができることだと思いました。この制度は、患者にとってもクリニックに行くよりも手軽なので効率的だと感じました。

4. 現地で働く医療関係者による講話

現地で働く日本人薬剤師とナースプラクティショナーの方に学校にきてお話をさせていただきました。ナースプラクティショナーという職業は医学診断と治療ができ、family doctor とほぼ同等の仕事ができるということは日本にはないことなのでとても興味深いものだと感じました。この方は薬物依存の患者やシェルターでの診療、高齢者のための往診など幅広く行なっていらっしゃり、日本との文化や制度の違いによる患者の違いもあるこ

とを感じました。特に薬物依存の人が多いのにも関わらず、マリファナが合法化されるということには驚きました。ナースプラクティショナーの方にとって薬剤師は欠かせない存在の様です。併用禁忌の薬物を処方してしまった時に薬剤師の方が即座に対応してくれたり、連携がしっかりと取れているのだと感じました。薬剤師の方のお話では、どの様にカナダでの薬剤師免許をとったか、どのくらいの期間かかったかなどを教えてください、日本との試験の違いも教えてくださいました。薬剤師業務の違いもたくさんあり、とても興味深いものでした。何か問題があったらすぐに訴えるという国民性の違いのため、薬剤師の方は簡単に I' m sorry. と言ってはならず、薬について理不尽なことを言う患者に対しての拒否権があることも興味深かったです。日本人にとっては意外と難しいことなのでカナダ以外の他の国で職につくことは慣れるまでは大変なことだと言うことがわかりました。どちらの方のお話も聞いて感じたのは、どちらもカナダでは勤務時間がきっちりとしていて残業などがほとんどないということでした。



5. ホームステイ

学校まで徒歩とバスで約 50 分程度の静かな住宅街に位置する家でした。わからないことはなんでも教えてくださり、美味しいご飯も作っていただきとても快適に過ごせました。東南アジア系の方で、英語と他の言語も聞こえてくる家でやはり多民族国家なのだなと感じました。ホームステイ先の近くからの夕焼けはとても綺麗でした。



6. 観光

放課後を使ってショッピングに行ったり、みんなで english bay に行つて夕日を見たり充実した時間を過ごせました。Stanley Park はとても大きな自然豊かな公園でサイクリングを楽しんでいる人もたくさんいました。8月のバンクーバーはとても過ごしやすい気候で公園などに行くには最適でした。カナダは自然豊かな国なので他にも行きたい観光名所がたくさんありましたが、時間がなくていけなかったのが残念でした。

7. おわりに

カナダは多民族国家で、様々な宗教、文化、考えを寛容に受け入れることに慣れているなということは強く感じたことでした。私はアメリカに一年ほど滞在したことがありましたが、アメリカよりも寛容なのではないかと感じました。英語のあまり喋れない人に対してもよりわかりやすい英語を使って言い直したりする配慮があったり、優しい人が多いのも特徴だなと感じました。自然も美しく観光名所もたくさんあるすばらしい都市でした。一番の目的であった日本とカナダの薬剤師の違いを知ることができ、より大きな目的を持って勉強しようと思えるきっかけになった充実した1週間でした。